

猪苗代町立緑小学校 研究テーマ「『なりたい自分』を目指し、共に認め、高め合うことのできる児童の育成」

身に付けさせたい力「みどりっこ」

④ ずからのよさに気付く力 ⑤ んな思いも受け止める力 ⑥ ばに思いを伝える力 ⑦ んなんなことにもチャレンジする力

(1)身に付けさせたい力を明確にした授業実践 学級活動(1)

～2年生の実践～

⑤ んな思いも受け止める力

- 議題名 緑小なかよししゅう会(たてわり活動)の計かくを立てよう
- ねらい 友達の思いを察しながら、縦割り班で仲良く活動する集会活動の計画を考えることができる。



少人数を生かして車座になり、全員が積極的に話し合いに参加することができた。その中でも司会・記録の役割の児童達によって、スムーズに話し合いが進んだ。
また、付箋を貼った用紙に記録をしながら話し合うことで、自分と他者の考えを比べ、互いの良さを見付けながら話し合うことができた。



なかよし集会では、縦割り班ごとに話し合いをしてクイズに答えるゲームを行った。役割分担に沿って、クイズのルールを説明や進行など自分達で運営することができた。全校生に楽しんでもらうことができたことにより、児童一人一人の大きな自信につながった。

(1)身に付けさせたい力を明確にした授業実践 体育科

～5・6年生の実践～

⑥ ばに思いを伝える力

- 单元名 「ボール運動(ボッチャ)」
- 授業テーマ ボッチャのルールを理解し、状況に応じた攻め方を仲間と話し合うことによって、主体的にゲームに取り組むことができる授業
- 本時の概要 運動能力に関係なく取り組みやすいボッチャでチームで作戦を話し合い、楽しむことを重視した。状況に応じた投げ方についてゲームボードを活用しながら、それぞれ考えを練り上げ、動き合った。

ボッチャの特性を生かし、その都度戦略的な話し合いが多め、児童同士の共感や関わり合いが深まり、見られることを喜び、一人一人が自信を持って発表することができた。また、自分の考えをまとめることができ、互いの考えを認め合えるようになった。



